



「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長／バリー・ラシン RI.D2590ガバナー／金子 大 横浜旭RC会長／市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(株岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にXマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2019年5月29日 第2384回例会 VOL. 50 No. 43

■司 会 副SAA 内田 敏

■開会点鐘 会 長 市川 慎二

■齊 唱 奉仕の理想

会員数	30名	本日の出席数	23名
本日の出席率	85.19%	修正出席率	92.86%

■本日の欠席者

安藤、宋、滝澤、二宮（登）、柳沢

■会長報告

皆様、こんにちは。5月とは思えないほどの猛暑日もあり暑い日が続いておりましたが、今日は寒いくらいの気温と体調管理の難しい気候になってきました。

5月はロータリー青少年奉仕月間となります。ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人が、リーダーシップ能力を伸ばせるよう支援しておりますが、ロータリーの青少年に関係する若者を見ると、夢や希望を表明し、自分の教育分野や、人間としての価値を磨いている素晴らしい若者が沢山いました。これは、ロータリーの会員とロータリーの親睦といった暖かい雰囲気の中で、自己研磨し奉仕の心が自然と溢れてくるような環境が、若者にとってより良い自立へと繋がっていると思わずにられません。

当クラブも、次年度にまたがりながら、看

護福祉高等学校、旭高校へのアプローチを続け、もう一度インターアクト提唱クラブを実現し、青少年ならびに若者にとって、好ましい変化がもたらされる大きな機会を作りたいと思います。

○地区関係

先日、今期最後の会長幹事会が開催されました。その際、横浜緑ロータリークラブでも、災害対策基金のようなものを、今年目指していると話されていました。お互いに情報など共有しながら、より良いものになればと思います。

■幹事報告

1) 例会変更のお知らせ

○横浜緑ロータリークラブ

日時 6月19日(水)→20日(木)夜間移動例会
期末懇親 点鐘 午後6時30分

場所 河鹿荘

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 6月11日(火)→休会

日時 6月25日(火)夜間移動例会
年度末懇親会 点鐘 午後5時30分

場所 ロイヤルホールヨコハマ

横浜市中区山下町90 Tel 045-641-1122

■国際奉仕委員会

二宮麻理子

○ご報告

5月22日(水)例会終了後、日本語支援学校ひまわりへ教材82,747円、42冊届けました。

■ 5 分間情報

吉原 則光



「本日は何の日かご存じですか？」

実は 1945 年 5 月 29 日、74 年前米軍の B29 爆撃機 517 機が横浜市中、南、西、神奈川区を中心に行った無差別爆撃。計約 2,570 トンの焼夷弾を投下し、市の中心部は猛火に包まれ焦土と化した。B51 戦闘機 101 機も来襲し機銃掃射を行った。

この大空襲は午前 9 時近くから 1 時間半位の間の出来事でしたが、当時の横浜市民にとっては絶対忘れられない戦争を知らない世代に必ず伝えるべき歴史の 1 ページです。

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

市川 慎二／①佐藤二郎さん、本日はイニシエーションスピーチ楽しみにしています。②妻に誕生日祝いのお花が届き喜んでおりました。有難うございます。

大川 伸一／①佐藤二郎さん、本日のイニシエーションスピーチを楽しみにしております。②オリンピックのチケット申し込みをしましたが、決勝なので当たらないでしょうね…

吉原 則光／①佐藤二郎会員のイニシエーションスピーチよろしくお祈いします。②8 千人以上が亡くなったといわれる 1945 年 5 月 29 日は横浜大空襲から 74 年になります。当時の横浜市民にとっては絶対忘れることの出来ない日です。

佐藤 真吾／①佐藤二郎さんのイニシエーションスピーチ楽しみです。②次年度各委員会の活動計画書の提出をお願いします。

内田 敏／佐藤二郎会員、本日のイニシエーションスピーチよろしくお祈いします。

太田 勝典／佐藤二郎さん、イニシエーションスピーチ楽しみです。

岡田 清七／例会で皆さんにお逢い出来ることに感謝です。

目黒 恵一／①佐藤二郎会員、イニシエーションスピーチ宜しくお祈いします。②誠に勝手ながら二俣川銀座商店フォルテ祭りは今年度中止となりました。次年度頑張ります！

増田嘉一郎／①来週、米山奨学生、馮さんが見えます。私は年度末の挨拶のためクラブ回りが始まっているので出席できません。宜しくお願いします。②佐藤二郎会員のイニシエーションスピーチと田川会員の卓話を楽しみます。

田川 富男／佐藤二郎さんイニシエーションスピーチありがとうございます。又時間があれば「遊び卓話三国志」をさせて下さい。

五十嵐 正／①佐藤二郎会員のイニシエーションスピーチよろしくお祈いします。②田川さんの楽しそうな卓話、楽しみにしております。

齋藤 善孝／①妻への誕生日祝いのお花をいただき有難うございます。②佐藤二郎さん、イニシエーションスピーチよろしくお祈いします。③田川さん、卓話楽しみです。

■イニシエーションスピーチ 佐藤 二郎



本日はこのような機会を頂きましてありがとうございます。こうした事がありませんと自分自身の事を振り返るなどございませぬ。しかしながら、あらためましてこれまでのことを色々と思い出してみますと、面映い気持ちでいっぱいでございます。

私自身の仕事についてが前任の須藤も話をしたことと思いますので、仕事の詳細は置いて少々違う切り口でお話が出来ればと考えております。

私が当時の三井生命に入社したのは平成 4 年になります。早いもので 27 年が経ち、営業の現場に出るからは約 20 年となります。平成 4 年といいますとバブルが崩壊した翌年になります。当時はバブル崩壊の影響がこんなに長く続き「失われた 20 年」となるなどは思ってもいませぬでした。実際、平成 4 年当時はバブル崩壊の翌年にも関わらず、生命保険業界は「機関投資家」と言われており、体感的景気はまだまだ深刻なものではなかつたことを覚えております。

むしろ「失われた 20 年」の言葉どおり営業

として出た20年前からこそが、景気の冷え込みを肌どころか、骨身に染みて実感したものであります。そうした中で20年間も続けてこれたのは、ひとえに一人一人のお客様、そして大樹生命を支えている営業職員の方々のお蔭でございます。

そうは言いましても世の中には色々な方がいらっしゃるもので20年もこの仕事をしておりますと、本当に色々な方にお会いすることになります。しみじみ考えますとまさに「小説」が一冊書けるのではないかと実感出来るほどでございます。

皆様は角川ホラー文庫というシリーズをご存知でしょうか。日本ホラー大賞を開催して、その大賞を出版していたのですが、その第4回大賞が「黒い家」。漫画にもなり、映画では森田芳光監督がメガホンをとれたものです。そして海外でもリメイクされた有名なホラー小説ですが、この作家が貴志祐介さん。この貴志さんは小説家になる前の勤務先が朝日生命さんだったんです。まさに経験を活かして執筆された作品だったのでしょね。貴志さんにならってと言う訳ではありませんが、折角なので私自身が体験した話を少し致します。

①初めての外線電話対応

②首都圏郊外の「本家」の相続

ある意味、「生命保険」に関わっているからこそ、こうした体験をしたようなものです。他にもまだまだございますので、機会がありましたらお話をさせていただきます。

一方で、お客様のところへお伺いすることで全く違った驚きに接することがあります。これは私の趣味で自己紹介にも書かせて頂いた「絵画鑑賞」でございます。本当にこんな作品を個人所有されている方がいるんだと、びっくりすることが一度や二度ではありません。

ここでちょっと話が逸れますが絵画との関わりについて少しだけ話を致します。幼い頃から絵を描くことは好きでしたが、私の覚えている記憶としては通っていた幼稚園で絵画教室を始めることになった時のことです。その時母が「絵画教室行く？」と聞いてきても幼稚園児が喰いついてくるはずありません。その絵画教室は土曜の午後に行われるので、次に母が言ったのは「お弁当持っていけるよ。」その言葉に幼稚園児であった私は「行く」と即答したそうです。しかしその程度の認識でしたから、絵画教室の初日の私は見事にお弁

当だけ食べて家に帰ってきてしまったため、すぐ手を引かれ幼稚園に強制送還された記憶が鮮明に残っています。

そんな切欠ではあったものの、描いていけば上手くなり、上手くなればさらに好きになっていくものです。高校の頃には本気で美大に行くか悩んでおりました。ここで今度は父が出てきます。その頃の父の一言「絵で食っていけるのか？」が決め手になりました。結局どちらの道が正解であったのなど、最早知る由もありませんが、現在私が進んできている今のこの道でも「絵画」を通して得てきたものは役に立っているのは確かでございます。

得てきたものの一つとしましては、大学の一般の生徒でも履修できる「学芸員課程」というものがございます。これは美術館や博物館などの企画展示などを仕切る資格と思って頂くと分かりやすいと思います。

この過程で取り扱うことの幅広いこと。これまで絵画についての知識や経験はありましたがそれらをはるかに超えて色々な経験をさせて頂きました。よく「学芸員」のことを揶揄して「雑芸印」と言われるのも、やってみれば「ごもつとも」と実感した次第です。

絵画・掛け軸・骨董・日本刀・そして土器の発掘調査、地域の石碑調査。学問的には歴史はもとより博物学・民俗学等、いわば雑学の宝庫であり、マナー・作法の原点とも言える勉強をしまりました。

当時は「面白い」という感覚しかございませんでしたが、こうした経験が社会人になり、営業現場に出た時に、これらの話題・話材が非常に役立ちました。

最後の締めの話も絵画に絡めさせていただきます。この横浜を始め首都圏では非常に多くの展覧会が絶え間なく開催されております。今年の初めなどは上野公園に複数ある美術館で「ムンク展」「フェルメール展」「ルーベンス展」という名作が集中する状況でありました。

これは日本にいる私たちでは普通の事に感じられますが、世界的に見たら信じられないことなのです。まずはこれだけに名作を集めるだけの資金があること。つまり経済的に恵まれ裕福であるという証明です。そしてどんなにお金を積まれても危険なところや騙されるような可能性があるところには貸し出しません。これは日本が世界から見て、安全であり信頼されているという何よりの証拠となります。

今回ロータリーの一員となったことを機に自分がいかに恵まれた環境にいるかを再認識して大きなことは出来ないかもしれませんが、「奉仕の気持ち」を常に胸に抱き、活動して参りたいと思っております。これからご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。

■卓話「じゃんけん三国志」 田川 富男



三国志に興味の無い方には、意味が解らないとは思いますが壮大なる中国5千年の歴史の中で三国時代はたった90年たらずの歳月の出来ごとの話です。

また、日本の歴史でも、有名な織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が活躍していた戦国時代でも100年位の間でした。でも何故か、今の時代でもある意味で新鮮に語り継がれて来ています。

今日の卓話については中国の歴史に興味が無くても三国志だけに興味が持てる卓話にしたいと思っています。自分の見解ですが、三国は「じゃんけんぽん」の三つ巴の国の話です。三つ巴の三国と言え均等が取れた三国関係では有りませんでした。それは「じゃんけんぽん」と同じような関係でした。

それでは、三国を紹介いたします。

今は昔、西暦180年中国全土は横巾の乱により漢帝国は滅亡しました。その時の日本では邪馬台国が繁栄し卑弥呼が名声を上げていた時代でした。この時代も、多くの小国が集まり隣国同士でしのぎを削り合い、互いに国を保持しています。それは現代でも同じと感じますが。当時の中国は「井の中の蛙」の集団国でした。その中で、力を持った3帝国が存在しました。

- ①まずは、グーの国として魏（ぎ）です。
- ②つぎにチョキの国として呉（ご）です。
- ③最後はパーの国は蜀（しょく）です。

魏、呉、蜀の三国は、まったく生まれが違う国でした。何が違う？

魏の君主は曹操という役人です。日本の戦国時代「信長」のように有知に富、冷酷で人



の使い方が上手で弱点の無い君主でした。呉の君主は孫権、揚子江に守られた大きな領地のある孫家の三代目として君臨していました。

三国志の主人公は、蜀の君主は劉備です。漢の再興を夢見る人望の有る人物でした。劉備の義兄弟関羽、張飛が活躍し特に有名な軍師の名は「諸葛亮孔明」です。

なぜ三国志が有名なのか、それは戦国時代と同じように弱肉強食で有り強い者が勝つ時代でした。この時代の記録書が沢山残され時代背景が鮮明にされ、多少の勝者の粉飾があるとは思いますが、後世に伝わりました。

三国の関係は常に「じゃんけんぽん」の「合いこでしょ」の連続でした。それは互いに「漁夫の利」が怖かったからでした。また、有名なのは「諸葛亮孔明」の存在です。軍師としての能力が有ったことも有りますが、後世に多くの「ことわざ」として残されています。

「三顧の礼」「苦肉の策」「危急存亡の秋」「千載一遇」「破竹の勢い」

諸葛亮孔明の「泣いて馬謖を斬る」「死せる孔明、生ける仲達を走らす」

今の時代にも通用する諺が生まれています。

三国志の魅力は、何といたっても三人の君主のキャラクターにあると思います。太閤記も同じですが、国のリーダーの気持ちが民衆に伝わり繁栄の源となり三国が同じ時代に繁栄し共存していたことが三国志の魅力の一つです。そんな時代でも戦国時代の特徴ですが、強い者が新しい時代を作り三国を滅棒させました。その名は、諺の「死せる孔明、生ける仲達を走らす」の仲達です。仲達(司馬い)は、後に晋(しん)と言う国を建国しました。

■次週の卓話

6/5(水)「商店街振興とまちづくり」

押見 保志様

(横浜市経済局商業振興課長)

週報担当 倉本 宏昭